

授業科目名 (英文名)	Writing 1 英語W 1 (L 1)	科目区分 対象学生	
単位数	1.00	開講年次・ 学期	1年次・前期
担当教員	崎川 裕貴子	所属	非常勤講師
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	1) 日常的な社会活動において必要となる英語文を書くことができる 2) 基礎的な英文を書くために語彙や文法を習得している 3) 基礎的な英文の文章構成法を理解している		
講義内容・授業計画	メールや手紙などの形式に慣れ、センテンスを正確に書く実践練習を行い、適切な語彙を身につけ、英文を書くスキルを向上させる。与えられた課題を着実にこなすことが求められる。 1. Introduction (授業運営および成績評価について) 2. Unit 1: Flourishing International Tourism 3. Unit 2: Increasing Popularity of Japanese Food Abroad 4. Unit 3: Homestay 5. Unit 4: The Olympic Games and the Paralympic Games 6. Unit 5: The Nobel Prize 7. Unit 6: Keeping in Shape 8. Unit 7: Job Hunting 9. Unit 8: University Reform 10. Unit 9: Merits & Demerits of Smartphones 11. Unit 10: Japan's Feat of Space Science 12. Unit 11: Japan's Food Self-sufficiency Rate 13. Unit 12: A Low Birthrate and an Aging Society 14. Unit 13: Global Warming 15. Unit 14: A Widening Gap Between Rich and Poor 定期試験		
テキスト	Writing Contemporary Topics in 15 Units (2017)、 Haruo Kizuka著、音羽書房鶴見書店		
参考文献			
成績評価の基準・方法	日常的な社会活動において必要となる英語文を書くことが出来るものに単位を授与する。 講義目的・到達目標に記載する能力の到達度に応じて、S から C まで成績を与える。 レポート・小テストなどによる平常点40%、試験60%を基準として、受講態度を含めて総合的に評価する。		
履修上の注意・履修要件	病気やけが等による欠席の際に証明書を提出する場合は、診断書(コピー可)を提出すること。 新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置に基づく遠隔授業 ・当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。		

実践的教育	該当しない
備考	